

## 丸越工業株式会社 環境行動計画

平成21年6月30日

### 取組方針

丸越工業株式会社は、『お客様の繁栄を通して社会に貢献する』ことをモットーに、顧客ニーズにあった省エネルギー材や環境浄化材などを製造・販売をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を回りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を従業員一丸となって推進します。

- ① 重油使用量削減を核とした省エネ化を進め、二酸化炭素排出量を低減する
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減・リサイクル化推進
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて従業員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全従業員に周知します。

平成21年6月30日

丸越工業株式会社

代表取締役社長 木地 一夫

### 3 環境負荷の低減目標

平成21年度の環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも20年度です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を5%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を50%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を12%削減する



【目標4】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

当社では環境負荷目標達成のための具体的な取組を以下の通り設定して取り組むこととしています。

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ① 昼休みと休憩時には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ② コンプレッサー及びその構内配管のエアリークを定期的に点検する
- ③ 焼成炉の温度を適正温度に設定する
- ④ 構内配置の見直しと整理整頓により物流にかかる燃料費を少なくする
- ⑤ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業部門での取組)

- ① 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ② 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ③ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ④ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ⑤ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ⑥ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ① 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ② 製造工程から発生するれんが屑は全てリサイクルする。
- ③ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ④ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ⑤ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ① ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ② 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ③ シュレッダーの使用は機密書類に限定する
- ④ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ⑤ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ① 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ② 使用済み用紙の裏面を利用する
- ③ コピー機を使用する前に必ず設定を確認する
- ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

【取組4】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ① 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ② 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ③ 保管庫からの危険物・洗浄剤の持ち出し量を記録する
- ④ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組5】 その他の取組

- ① 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ② 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ③ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ④ 社員による改善提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境負荷低減を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。